

ふらの市移住促進協議会 平成23年度活動報告書

富良野への移住を促進する取り組みについて



平成24年5月
ふらの市移住促進協議会

目 次

■平成23年度事業計画の概要	2
■組織の概要	3
■平成23年度事業実績	
○移住促進に係る周知活動の実施	
(1) 首都圏等プロモーション活動の実施	6
(2) パンフレットの作成・配布	9
(3) ホームページ更新・運営管理	10
(4) 移住協通信の発行	10
○移住促進に係る各種事業の推進	
(1) 移住体験モニターツアーの企画・実施	11
(2) ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施	12
(3) 講演会の開催	13
(4) 二地域居住・シーズステイの検討・活用	14
(5) 空き家等の情報収集及び提供	14
(6) 就労に関する情報の拡充	14
○各種会議開催状況	
(1) ふらの市移住促進協議会総会の開催	14
(2) 幹事会の開催	14
(3) 移住促進作業チーム	14
■移住実績	17
■移住相談集計結果	18
■参考資料	
○新聞記事	19
○移住協通信	33

平成23年度事業計画の概要

移住促進に係るPR活動の実施

(1) 首都圏等プロモーション活動の実施

首都圏等で開催されるイベントに積極的に参加し、富良野市への移住促進に向けた移住相談等を実施する。

◇北海道フェア in 東京 ◇北海道フェア in 大阪

(2) パンフレットの作成

◇ふらの市移住促進協議会パンフレットの作成 5,000部作成

(3) ホームページ更新・運営管理

◇ホームページの更新を行う。

(4) 移住協通信の定期発行

協議会の取り組みを紹介、移住相談・お試し暮らし住宅の状況、連絡事項等を記載し、協議会会員にメール等で送付、ふらの市移住促進協議会HPにて公開

移住促進に係る各種活動の推進

(1) 移住体験モニターツアーの企画・実施

富良野での生活体験ができるモニターツアーなどのイベントを企画・実施する。

また、ツアー参加者による富良野生活をブログ等を利用し、情報を発信してもらう。

(2) ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施

◇市実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇民間実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

(3) 二地域居住・シーズンステイの検討・活用

旅館やホテルなどを1週間単位で宿泊し、シーズンステイなどができるプランを検討する。対応していただける旅館やホテルを募集し、協議会としてシーズンステイを希望する方に情報提供を行う。

(4) 講演会の開催

移住に関する講師による、富良野市全体の移住に対する意識向上のため、富良野市民を対象にした講演会を企画・実施する。

(5) 空き家等の情報収集及び提供

農村地域をはじめ市内にある未活用となっている空き家等の情報収集を行い、移住者への住宅情報の充実を図る。

(6) 就労に関する情報の拡充

移住者に対し、ハローワークでの求人情報の提供に加え、市内における起業や就農など、就労に向けた情報の拡充を図る。

各種会議開催状況

(1) 会議の開催

- ①総会の開催
- ②幹事会の開催
- ③移住促進作業チームの開催

(2) 関係団体との連絡調整

北海道移住促進協議会、NPO 法人「住んでみたい北海道」推進会議

組織の概要

■名 称 ふらの市移住促進協議会

■代表者 富良野市長 能 登 芳 昭

■設 立 平成21年5月21日

■事務局 〒076-8555 富良野市弥生町1番1号
富良野市総務部企画振興課内
電話 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121

■目 的 富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促をすることにより、地域振興を図ることを目的とする。

■協議会会員

構成団体

富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会
富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分區

会員事業所 平成23年度 27事業所

(株)アーキスト	(株)扇商連 (サンエービルド工業)	富良野ホテル・ベルヒルズ
旭川信用金庫 富良野支店	鶴 Apartment	(有)フラワーブティック エハラ
(株)FB ふらのバーガー	てっぱん・お好み焼き まさ屋	(株)プリンスホテル 新富良野プリンスホテル
(株)亀屋斉藤商店	(株)那知組	ペンション ピノキオ
(株)軽米組	西出装飾	(株)北菱

(株)菊田建設	(株)ニュー富良野ホテル	北海道ホテル&リゾート(株) ホテルナトゥールヴァルト富良野
北の宿 望峰	ヒーリングポイント 宙に感謝	(株)ゆあさ
(株)コダマ	(株)富良野タクシー	(株)吉田塗装店
(株)佐藤建業	富良野地方卸売市場(株)	(株)ラジオふらの

(50音順)

■ふらの市移住促進協議会規約

(名 称)

第1条 本会は、ふらの市移住促進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促進することにより、地域振興を図ることを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会の主な事業は、次のとおりとする。

- (1) 移住促進に係るPR活動の実施
- (2) 移住促進に係る各種事業の推進
- (3) その他 移住促進のために必要な取組

(組 織)

第4条 協議会は、富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会、富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区、及び協議会の趣旨に賛同する各団体の構成員をもって組織する。

(役員及び職務)

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 1 名
- (3) 理 事 4 名
- (4) 監 事 1 名

2 役員は、協議会において選任する。

3 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

6 理事は、協議会の主要事項の審議並びに会務の運営にあたる。

7 監事は、会計を監査する。

(会 議)

第6条 協議会の会議は、会長が必要と認めたときに招集し、開催する。

(会 計)

第7条 協議会の経費は、会費、その他収入をもってこれに充てる。

2 協議会の会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。ただし、設立年度については、施行日から翌年の3月31日までとする。

(幹事会)

第8条 協議会の事業が円滑に運営できるように企画立案し、関係団体実務担当者相互の連携協調を図ることを目的として幹事会を置く。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、富良野市役所総務部企画振興課に置く。

(委 任)

第10条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成21年5月21日から施行する。

【役 員】

(任期：平成23年度～平成24年度)

職 名		構 成 団 体
会 長	能 登 芳 昭	富良野市長
副会長	上 田 勉	北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区長
理 事	村 山 友 希	ふらの農業協同組合代表理事組合長
理 事	荒 木 毅	富良野商工会議所会頭
理 事	平 賀 周 一	山部商工会会長
理 事	黒 岩 岳 雄	ふらの観光協会会長
監 事	平 沢 幸 雄	富良野建設業協会会長

移住促進に係る周知活動の実施

(1) 首都圏等プロモーション活動の実施

○北海道暮らしフェア in 東京・北海道暮らしフェア in 大阪への参加

■ 目 的

子育て世代・団塊世代等に広がりを見せる「第二の故郷探し」の胎動を踏まえ、北海道への移住・交流を促進するため、首都圏において富良野市ならではの魅力と「お試し暮らし」をはじめとした、富良野市へ移住に関する情報等を、積極的にアピールするフェアに参加し、富良野市の生活・暮らしを身近に知ってもらい、交流・定住人口の増加を通じた地域活性化を目指す。

■ 主 催

◇北海道暮らし・フェア in 東京 北海道・NPO 法人住んでみたい北海道推進会議

◇北海道暮らし・フェア in 大阪 北海道・NPO 法人住んでみたい北海道推進会議

■ 開催日時

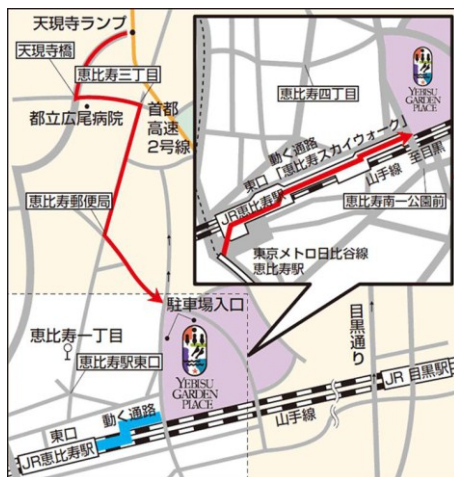
◇北海道暮らし・フェア in 東京：平成23年 9月23日（金）10:00～

平成23年9月24日（土）15:00

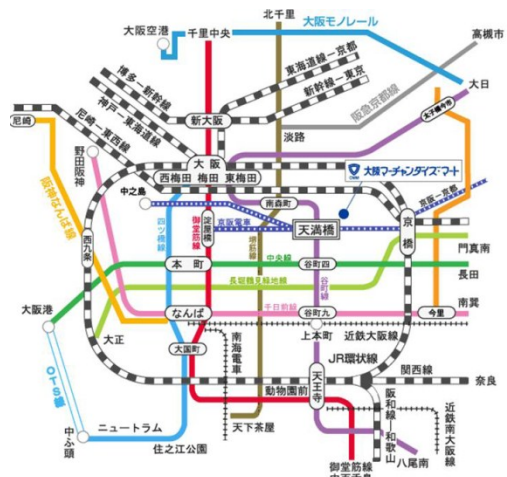
◇北海道暮らし・フェア in 大阪：平成23年10月22日（土）10:00～17:00

■ 会 場

東京会場



大阪会場



■ 入場者数

◇北海道暮らし・フェア in 東京

1,900 人（富良野来場者 53 組）

◇北海道暮らし・フェア in 大阪

1,200 人（富良野来場者 33 組）

■会場の様子

◇北海道暮らし・フェア in 東京



◇北海道暮らし・フェア in 大阪



■アンケート集計結果

Q1 北海道に移住するとしたら、どのような点をどの程度優先しますか？

		東京	大阪
1. 日常生活に不便が無いこと	最優先したい	23.5%	15.8%
	優先的に考えたい	64.7%	52.6%
	こだわらない	11.8%	31.6%
	無回答	0.0%	0.0%
2. 自然が豊かであること	最優先したい	27.8%	31.6%
	優先的に考えたい	61.1%	63.2%
	こだわらない	11.1%	5.3%
	無回答	0.0%	0.0%

3. 仕事があること	最優先したい	29.4%	23.5%
	優先的に考えたい	17.6%	5.9%
	こだわらない	52.9%	70.6%
	無回答	0.0%	0.0%
4. 移住者の支援制度があること	最優先したい	37.5%	18.8%
	優先的に考えたい	50.0%	37.5%
	こだわらない	12.5%	43.8%
	無回答	0.0%	0.0%
5. 不動産の価格が安いこと	最優先したい	25.0%	18.8%
	優先的に考えたい	56.3%	50.0%
	こだわらない	18.8%	31.3%
	無回答	0.0%	0.0%
6. 医療・福祉体制	最優先したい	43.8%	17.6%
	優先的に考えたい	56.3%	70.6%
	こだわらない	0.0%	11.8%
	無回答	0.0%	0.0%

Q2 富良野市に移住するとしたら、どのような形態を希望しますか？

	東京	大阪
完全移住	25.0%	21.7%
二地域居住	29.2%	17.4%
シーズンステイ	45.8%	60.9%

Q3 富良野市に移住するとしたら、住宅はどのような形態を希望しますか？

	東京	大阪
一戸建て住宅（賃貸）	45.0%	21.7%
一戸建て住宅（売買）	25.0%	17.4%
アパート（賃貸）	30.0%	60.9%

Q4 富良野市の移住に関する情報をホームページなどご覧になったことがあるものは？

	東京	大阪
北海道移住促進協議会ホームページ	22.2%	38.1%
富良野市公式ホームページ	27.8%	9.5%
ふらの市移住促進協議会ホームページ	5.6%	4.8%
協議会ブログ「ふらのに住んだらイイジャナイカ♪」	0.0%	4.8%
移住情報誌	16.7%	0.0%
その他ホームページ	5.6%	4.8%
その他	22.2%	38.1%

Q5 富良野市にお越しになったことはありますか？

	東京	大阪
ある	95.2%	90.5%
ない	4.8%	9.5%
無回答	0.0%	0.0%

Q6 北海道への移住を考えたとき、富良野市はその候補地として対象になりますか？

	東京	大阪
なる	90.5%	75.0%
ならない	0.0%	0.0%
何とも言えない（わからない）	9.5%	25.0%
無回答	0.0%	0.0%

Q7 ホテルやペンションを利用した、5日～1週間程度の旅行商品があったら利用しますか？

	東京	大阪
はい	73.7%	76.2%
いいえ	26.3%	19.0%
無回答	0.0%	4.8%

Q8 アンケート回答者の年齢構成

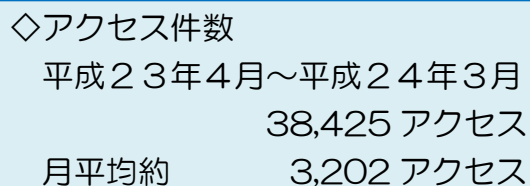
	東京	大阪
20歳代	0.0%	0.0%
30歳代	5.9%	9.1%
40歳代	14.7%	9.1%
50歳代	20.6%	27.3%
60歳代以上	58.8%	54.5%
無回答	0.0%	0%

(2) パンフレットの作成・配布

■ふらの市移住促進協議会パンフレット作成 5,000 部



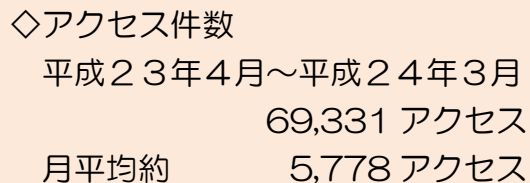
■ホームページ (<http://www.ijy.furano.jp>)



ホームページトップ画面



ブログトップ画面



協議会の取り組みの紹介、移住相談・お試し暮らし住宅の状況、連絡事項等を記載し、協議会会員にメール等で送付、ふらの市移住促進協議会HPにて公開。

◇第22号 (2011.7.12)

◇第25号 (2012.1.20)

- 10 -

移住促進に係る各種事業の推進

(1) 移住体験モニターツアーの企画・実施

協議会が主催する「素のーライフ in ぶらの」を企画・実施しました。富良野市へ移住を考えている方に対し、富良野生活を体験していただくことによって、移住をより具体的に検討してもらいました。また、滞在期間中にはブログによる情報発信をしていただき、モニターツアーに参加していない方にも、移住体験の疑似体験をしてもらいました。

◇開催期間 平成24年3月15日～19日（4泊5日）

◇ツアー参加者

世帯構成	住所
70代男性、50代男性	愛知県大府市
50代単身男性	東京都豊島区
60代男性、60代女性	広島県廿日市市
60代単身男性	千葉県松戸市
30代単身男性	東京都小平市

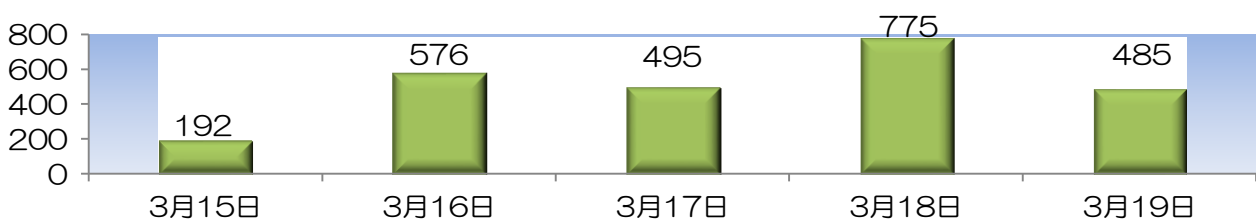
◇オリエンテーションの様子



◇市内施設見学バスツアーの様子



◇移住体験モニターツアーブログのアクセス件数



(2) ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施

■市実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇弥生住宅



外観



内装



間取り

◇東山住宅1号



外観



内装



間取り

◇東山住宅2号（平成22年9月より入居募集開始）



外観



内装



間取り

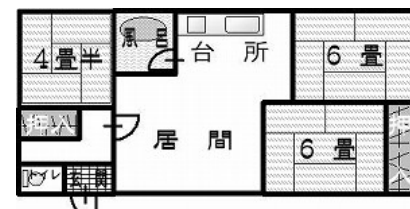
◇山部住宅（平成23年7月より入居募集開始）



外観



内装



間取り

◇平成23年度の利用状況

弥生住宅（7組12名）		東山住宅1号（4組11名）		東山住宅2号（6組14名）	
広島県	50代単身女性	東京都	30代複数世帯	埼玉県	30代複数世帯
愛知県	60代夫婦	愛知県	70代夫婦	栃木県	60代単身
兵庫県	60代夫婦	札幌市	60代夫婦	神奈川県	60代夫婦
愛知県	40代単身女性	東京都	60代単身女性	大阪府	70代夫婦
東京都	60代夫婦	山部住宅（1組2名）		東京都	50代夫婦
東京都	50代複数世帯	千葉県	40代親子	千葉県	50代単身
東京都	60代夫婦				

■民間実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇(株)北菱物件「アパルC」を公表



◇平成23年度の利用状況

アパルC（2組6名）	
大阪府	70代夫婦
大阪府	50代複数世帯

(3) 講演会の開催

◇開催日 2月9日（木）15:00～17:00

◇場所 富良野文化会館2階中会議室

◇演題 「移住促進フォーラム」～富良野らしいライフスタイルと移住・定住～

◇講師 北海道大学観光学高等研究センター 教授 佐藤 誠 氏

◇参加者 一般市民40名



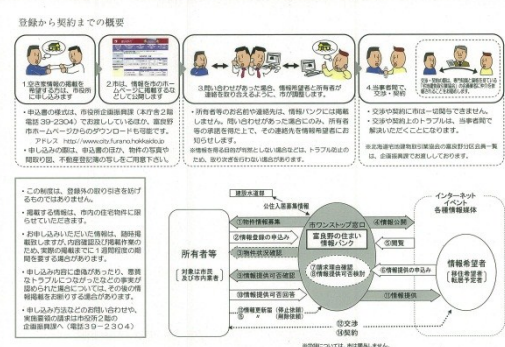
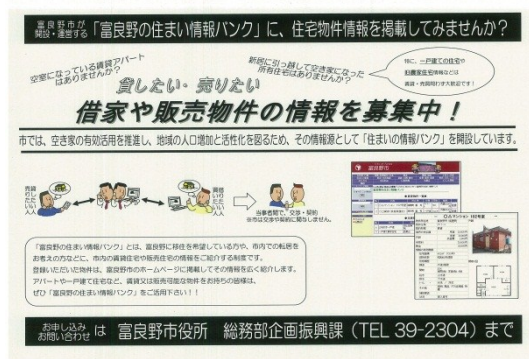
(4) 二地域居住・シーズンステイの検討・活用

旅館やホテルなどを1週間単位で宿泊し、シーズンステイ等ができるプランを検討。

(5) 空き家の情報収集及び提供

市街地・農村地区において、未活用となっている空き家等の情報を収集。

講演会や富良野市において開催された連合町内会長会議等において、チラシ等を配付し、情報提供の依頼を行った。



(6) 就労に関する情報の拡充

移住者に対し、ハローワークでの求人情報による情報提供。

また、富良野市農林課等と連携し新規就農に対する情報提供を行った。

各種会議開催状況

(1) 会議の開催

■ふらの市移住促進協議会総会

開催日 平成23年5月26日(木)

場所 富良野市役所大会議室

議事 報告第1号 平成22年度事業報告について
報告第2号 平成22年度収支決算について
報告第3号 新規参加事業所について
議案第1号 平成23年度事業計画(案)について
議案第2号 平成23年度収支予算(案)について
議案第3号 役員の改選について

■第1回幹事会

開催日 平成23年5月11日(水)

報告事項 ①お試し暮らし住宅の入居状況について
②平成22年4月～平成23年3月までの移住相談状況について
③移住状況について

協議事項 ①ふらの市移住促進協議会平成23年度総会について

■第2回幹事会

開催日 平成23年11月21日（月）

報告事項 ①お試し暮らしの入居状況について
②平成23年5月～平成23年10月までの移住相談状況について
③北海道暮らしフェア inJAPAN 東京会場及び大阪会場について

協議事項 ①平成23年度事業について
・移住体験モニターツアーの開催について
・講演会の開催について
・二地域居住・シーズンステイの検討・活用について

■移住促進作業チーム第1回会合

開催日 平成23年4月7日（木）

協議事項 ①移住体験モニターツアーについて
・アンケート集計結果
②平成23年度事業について

■移住促進作業チーム第2回会合

開催日 平成23年4月14日（木）

協議事項 ①ふらの生活様式の配付について

■移住促進作業チーム第3回会合

開催日 平成23年8月10日（水）

協議事項 ①ふらの市移住促進協議会パンフレットの作成について
②移住促進フォーラムについて
③移住体験モニターツアーについて

■移住促進作業チーム第4回会合

開催日 平成23年9月1日（木）

協議事項 ①ふらの市移住促進協議会パンフレットの作成について
②移住促進フォーラムについて
③移住体験モニターツアーについて

■移住促進作業チーム第5回会合

開催日 平成23年10月4日（火）

協議事項 ①移住促進フォーラムについて
②移住体験モニターツアーについて
③ホテル・ペンション等を活用したロングステイの取組みについて

■ 移住促進作業チーム第6回会合

開 催 日 平成23年12月21日（火）

協議事項 ①移住促進フォーラムについて
②移住体験モニターツアーについて
③平成24年度事業について

■ 移住促進作業チーム第7回会合

開 催 日 平成24年1月24日（火）

協議事項 ①移住体験モニターツアーについて
②移住促進フォーラムについて
③移住促進プラン（中・長期滞在宿泊プラン）のご提案について
④「モニターツアーの造成による長期滞在型観光の推進に関する調査」ツアー

■ 移住促進作業チーム第8回会合

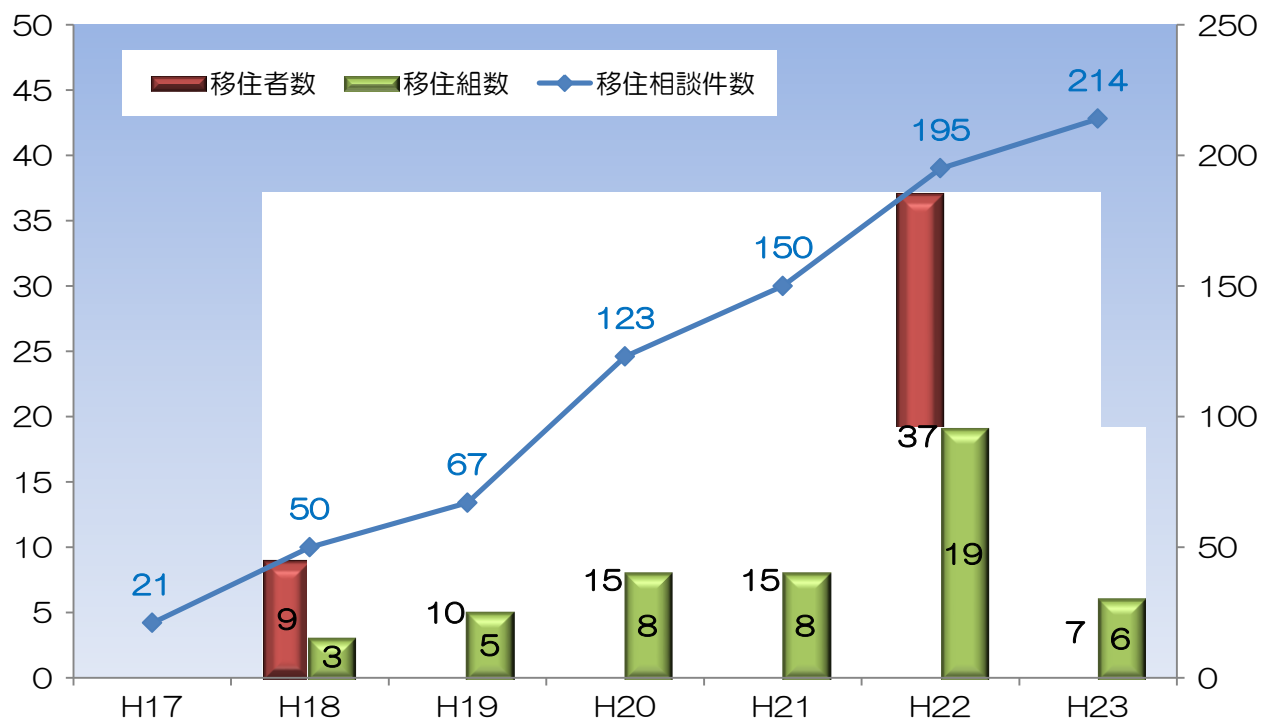
開 催 日 平成24年2月29日（水）

協議事項 ①移住促進フォーラムについて
②移住体験モニターツアーについて
③「富良野市移住 Q&A」BOOK の作成について

移住実績

■ 移住者数及び相談件数

	H17 年度 6月から	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	合計
移住者	0 件	3 組 9 名	5 組 10 名	8 組 15 名	8 組 15 名	19 組 37 名	6 組 7 名	49 組 93 名
移住相談 件数	21 件	50 件	67 件	123 件	150 件	195 件	214 件	820 件



■ 移住相談集計結果

移住相談集計結果

期間: 2011/4/1～2012/3/31

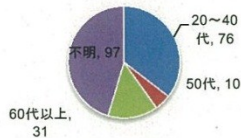
単位: 人

■ 全集計

総数	214
----	-----

1. 年齢	20～40代	76	35.5%
	50代	10	4.7%
	60代以上	31	14.5%
	不明	97	45.3%

1. 年齢

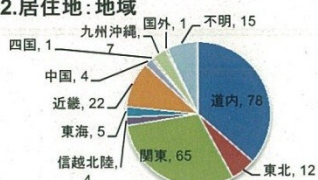


2. 居住地	大区分	道内	78	36.4%
		道外	125	58.4%
地域		不明	11	5.1%
		道内	78	36.4%
		東北	12	5.6%
		関東	65	30.4%
		信越北陸	4	1.9%
		東海	5	2.3%
		近畿	22	10.3%
		中国	4	1.9%
		四国	1	0.5%
		九州沖縄	7	3.3%
		国外	1	0.5%
		不明	15	7.0%

2-1. 居住地: 大区分

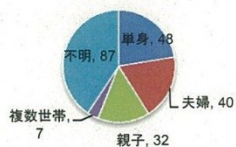


2-2. 居住地: 地域



3. 構成	単身	48	22.4%
	夫婦	40	18.7%
	親子	32	15.0%
	複数世帯	7	3.3%
	不明	87	40.7%

3. 構成



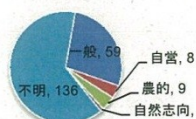
4. 希望地	市街	57	26.6%
	市街周辺	12	5.6%
	郊外	11	5.1%
	不明	134	62.6%

4. 希望地



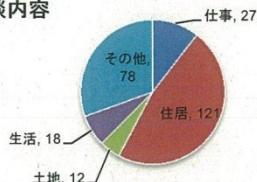
5. 希望形態	一般	59	27.6%
	自営	8	3.7%
	農的	9	4.2%
	自然志向	2	0.9%
	不明	136	63.6%

5. 希望形態



6. 相談内容	仕事	27	12.6%
	住居	121	56.5%
	土地	12	5.6%
	生活	18	8.4%
	その他	78	36.4%

6. 相談内容



※相談時期	4～6月	79	36.9%
	7～9月	65	30.4%
	10～12月	29	13.6%
	1～3月	41	19.2%

移住者数	完全移住	6組	7人
	二地域移住		
	お試し暮らし	18組	39人

H17 H18 H19 H20 H21 H22

総数	21	50	67	123	150	195
----	----	----	----	-----	-----	-----

20～40代	12	26	31	70	51	73
50代	3	8	9	15	18	21
60代以上	2	4	9	17	31	24
不明	4	12	17	20	50	77

道内	7	14	30	53	44	66
道外	13	33	35	57	94	114
不明	1	3	2	10	12	15
道内	7	14	30	53	44	66
東北			3	2	1	6
関東	6	20	14	27	42	53
信越北陸	1	1	1	1	3	3
東海		2	4	4	15	7
近畿	3	6	5	11	24	24
中国		1	1	3	6	4
四国	1	3	1		1	2
九州沖縄	2		3	6	2	9
国外					1	6
不明	1	3	5	13	11	15

単身	2	8	13	34	39	42
夫婦	5	12	15	27	37	43
親子	3	15	9	18	16	26
複数世帯	1		1			4
不明	10	15	26	42	58	80

市街	16	25	40	70	38	56
市街周辺		6	8	10	5	9
郊外	4	4	14	21	17	20
不明	1	15	5	22	90	110

一般	19	30	46	71	32	40
自営	2	5	12	6	4	10
農的		6	2	4	7	5
自然志向		1		12	5	6
不明		8	7	30	102	134

仕事	9	18	8	23	25	23
住居	15	35	40	87	85	103
土地	2	7	7	13	14	9
生活	7	10	6	20	17	17
その他		22	21	28	26	71

4～6月	1	16	9	20	39	31
7～9月	6	14	14	31	38	58
10～12月	6	10	22	24	38	54
1～3月	8	10	22	48	35	52

完全移住	3組	5組	6組	7組	18組
	9人	10人	13人	13人	35人
二地域移住			2組	1組	1組
			2人	2人	2人
お試し暮らし	-	-	-	8組	14組
	-	-	-	10人	26人

■新聞記事



10年度移住者35人

**富良野市促進協総会
会長に市長を再選**

【富良野】市移住促進協議会の本年度総会が5月26日、約20人が出席し、市役所で開かれた。2010年度の移住者が35人になったことのほか、1995年の移住相談があったことを報告された。

協議会は09年に設置。市や商工会議所など市内7団体で構成され、27事業所が会員となっている。10年度の活動報告では、移住者数が前年度の15人から倍以上に増えたことなどが説明された。

1～3カ月間の移住体験が可能で市内に4棟ある「お試し暮らし住宅」は、15組28人が利用して約3分の2が60歳以上だった。協議会は「想定よりやや年齢層が高い」とした。

会長には能登芳昭市長が再選された。任期は2年。

（安房寛）

移住者増の取り組みなどが説明された市移住促進協議会の総会

2011 年（平成 23 年）6月3日（金）
北海道新聞 ふらの欄

昨年度の移住者は18組35人

移住促進協議会で総会開き事業決める

富良野市移住促進協議会（能登芳留会長）は、平成23年度総会を5月26日、市役所大会議室で開き、事業計画と収支予算を原案通り承認し、会長に能登芳留市長を再選、新副会長に上田勉・北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分支部長を選出した。新年度の事業計画で、移住者は18組35人で移住相談件数は195件にのぼった。平成21年同協議会は平成21年

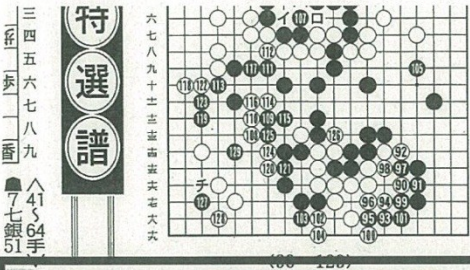


富良野市移住促進協議会の総会が開かれ平成23年度の事業計画を決める

5月、富良野市への移住希望者を対象に民間団体と市が連携協力し、富良野市への移住を促進し、地域振興を図るのを目的に設立された、会員は新たにラジオふらのと輪F.B「F.B」ふらのパワガが加盟し、27事業所で構成されている。新年度の事業計画によると移住促進のPR活動として、大阪と東京など首都圏で開かれる「北海道暮らしフェア」に参加し、富良野への移住促進に向けた移住相談を行う。また、富良野での生活体験ができる移住体験モニターツアーなどのイベントを企画し、ツアー参加者のブログなどを利用した情報発信を行う。このほか、市と民間が実施する「お試し暮らし住宅」のホームベージを公表、二地域居住・シニアステイプランの検討、講演会の開催、空き家等の情報収集と提供、就労に関する情報の拡充などを行う。事業予算は137万5000円。

なお、富良野市への移住者は平成18年度から22年度までの5年間で計606件にのぼっている。特に平成20年度から相談件数が大幅に増加し、22年度は200件近くにも達している。

11月30日(水)毎日新聞(夕刊)



下辺の白に寄り付く
うとしたが、白94から
104まで、きれいに生き
られてしまった。
中々、黒93のス
、94のト
黒イから符号順に黒
、反撃の糸口
る。
仲國八
「優勢の白は、白100
チのオサエならば堅
った。黒100のソキ
うまい手、これから
面が動きま」
(中村智佳子)

阿含桐山杯第十八期
全日本早碁オープン戦
第3譜
戦(本) 九段 山田規三生
先番 九段 柳 時薫
(各2時間持ち)

富良野移住体験モニターツアー
素のーライフinふらのの2012 参加者募集
『自然豊かで適度に都会』北海道のへそ、富良野市に移住や二地域住居を検討中の方大募集です。
冬の生活体験を通じて、富良野の冬を感じてみませんか?
■開催期間 2012年3月15日(休)～19日(月) 4泊5日
■募集人数 ①家族(2～4名)1組 ②ペア(2名)4組 ③単身(1名)2組
■参加条件 ①健康な方 ②富良野での生活体験ブログの更新が可能なる方
③モニターツアー終了後もアンケート調査など当方のデータ収集に協力して頂ける方
■参加費 1人5,000円(ご自宅から富良野までの交通費および滞在中にかかる生活諸費は各自負担)

申し込み方法、お問い合わせは
ふらの市移住促進協議会事務局
TEL:0167-39-2304
<http://www.furano.jp/index.html>

ソニー生命の学資保険
大切なお子さまのために将来の安心を今からご準備しましょう
毎月払保険料 **4,140円** 満期学資金 **100万円**
5年ごと積立増額金
O歳 ← 保険料払込期間 → 18歳
※契約者が30歳男性、被保険者(お子さま)が0歳の場合の計算例です。
※返戻率は、被保険者(お子さま)が無事に満期を迎えられた場合の金額です。
※被保険者(お子さま)が万一の場合、すでに支払った保険料相当額が
死亡給付金として支払われます。
※返戻率・学資金受取額は、保険料払込期間中に100%
※契約期間中は、今後の経済情勢などにより変動(増減)します。
※また、返戻率の中心となるのは、お支払いただいた保険料です。
※商品の概要を説明しています。詳しくは、「商品パンフレット」
に契約のしおり・約款、保険金等の支払対象となる事柄および
支払条件につきましては、「契約概要」「返戻率説明書」も必ずご覧ください。

仕組みとご契約例
契約者→O歳 男性
被保険者(お子さま)→O歳
保険期間→学資保険3年
満期学資金額→100万円
保険料払込期間→18歳まで
100万円
返戻率 **約111.8%**
4,140円/月×180回×1.118%
=89万4,240円
学資金受取額 **126.5万円**
上記ご契約の満期学資金100万円(10歳)で設計した場合、月々の
保険料(毎割額)は4,140円です。18年間の総支払額は89万4,240円に
対し、18歳満期時に100万円が受取られます。また、8歳の時に、
中学、高校進学のおきにそれぞれ学資金が受けとれる1割まで
ございます。保険期間中にご契約者が万一の場合、以後の保険料支払
は不要です。

Sony Life ソニー生命保険株式会社 担当ライフプランナー 武藤・平井
〒461-0005 名古屋市中区東区1-10 アーバンネット名古屋ビル17F 名古屋ライフプランナーセンター第3支社
TEL 0120-911-893 052-955-7773 登録番号 SL11-1460-0056

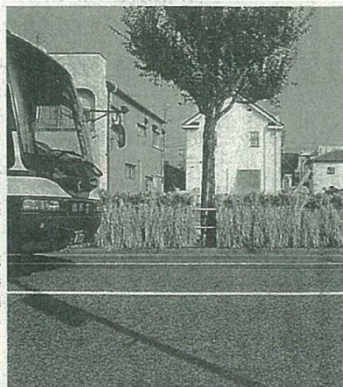
タチウの生ハム、ソーセージ、卵販売
サラミ&ジャーキーギフトセット
道の駅「しかおい」「うりまぐ」でも販売中!
ご購入のお問い合わせは
道の駅「しかおい」 TEL0156-66-1125
「うりまぐ」 TEL0156-67-2626
SHIKAOI LONGNECK RANCH
官原牧場
観光牧場ではないですが
あらかじめ連絡頂ければ
見学もOKです
TEL・FAX 0156-67-2338

アンティーククロック 修理店
出張修理も致します。お問い合わせください。
ボンボン時計からΩ・ロレックス 時計修理のことなら何でも
時計修理技術センター
東海時計サービス社
TEL052-881-3030 FAX052-881-6475
名古屋市中区瑞穂区下坂町4-25(名古屋高速堀田出口東300m)
<http://www.tokai-tokei.jp>

まんのう 整形外科
診療科目 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科
診療時間
時間 曜日 月 火 水 木 金 土
AM9:00～PM12:00 ● ● ● ● ● ●
PM3:00～ PM6:30 ● ● ● / ● ●
休 診 日 木曜午後・土曜午後・日曜日・祝日 ▲AM9:00～PM1:00
<http://www.myclinic.ne.jp/mannouseikei/>
三重県松阪市松崎浦町96-1 ☎(0598)51-1775 図有

12月1日(木)毎日新聞(朝刊)

1席「街なかの実り」小前善逸



TEL:0167-39-2304
http://www.iju.furano.jp/index.html

病院徒歩1分職員住宅完備(1DK等)、
家賃、光熱水費無料(冷蔵庫、ガスコンロ、エアコン有り)

【待遇】住居手当支給限度額2.7万円、期末勤勉手当(ボーナス)年2回(6月・12月)計4ヶ月分、その他各種手当有り

〒100-1511 東京都八丈島八丈町三根26番地11 ☎04996-2-1188

12月2日(金)毎日新聞(朝刊)

案へを

た。河村市長は「3組体制でパトロールを行う」と試算すると2400万円かかる。市内をわずか3組で回っても、持ち去りそのものも、やめさせる効果はないのか」と持論を述べた。

素のーライフinふらの2012 参加者募集

<http://www.iju.furano.jp/index.html>



正社員・パート 店頭での接客営業 飛び込み営業、TELアポはありません。

valer 戸田店 ※転動は
バロー 戸田店 ございません
名古屋市 中川区 戸田 明正2-110 バロー1F



道内体験移住38%増

対象物件拡大し成果

道内で各市町村が進める体験移住事業（「ちょっと暮らし」）で、本年度上半期（4～9月）の利用実績が計119人、延べ滞在日数3万1568日となり、前年同期（905人、7万2870日）より

「ちょっと暮らし」の本年度上半期滞在延べ日数上位10自治体

順位	市町村名	延べ日数	人数
1(4)	釧路市	4336日	112人
2(1)	日高管内浦河町	2604日	48人
3(2)	石狩管内当別町	1572日	61人
4(6)	紋別市	1537日	68人
5(3)	根室管内中標津町	1332日	64人
6(一)	伊達市	1233日	25人
7(7)	上川管内美瑛町	1189日	27人
8(5)	後志管内黒松内町	1018日	43人
9(一)	富良野市	1010日	34人
10(一)	オホーツク管内清里町	995日	45人

()内は前年度同期の順位。一は前回11位以下

2万2870日）より人数で32%、延べ滞在日数で38%の大幅増となったことが、道のまとめで分かった。道は、対象物件が拡大したほか、短期のツアーなどきめ細かい取り組みが成果を挙げているとみている。

「ちょっと暮らし」は道内への本格移住を検討する人に数週間から数カ月間、空き家や専用住宅を提供して住んでもらう事業で、2006年に道が呼び掛けた。今回発表された。同市は「最近

した数値には東日本大震災の避難者の利用実績は含まれていない。市町村別では、延べ滞在日数が前年同期の4倍に増えた釧路市が初めて1位になった。物件不足が受け入れの障害となっている各地の事情を知り、ホテルに協力を求めて週・月単位の格安プランを提供してもらったり、不動産会社に家財一式付き短期用マンションを増やしてもらったり受け入れ態勢を充実させた。同市は「最近

在が長期化し、マンションの人気も高まっている」と分析する。

10位に入ったオホーツク管内清里町は、滞在日数が短い人向けに2泊3日で町内の景勝地や公共施設などを巡るツアーを実施。案内人を同町への移住者が務めることで、ツアー中に移住について相談できるようにし、好評だったという。

本年度は東日本大震災の避難者受け付けのため、移住受け付けを中断した市町村も多々、道は「その分、来年度は利用が増える余地がある」とみている。

2011年（平成23年）12月4日（日）
北海道新聞

富良野移住体験モニターツアー

素のーライフinふらの2012

参加者募集

『自然豊かで適度に都会』北海道のへそ、富良野市に移住や二地域住居を検討中の方大募集です。

冬の生活体験を通じて、富良野の冬を感じてみませんか？

■開催期間 2012年3月15日(木)～19日(月) 4泊5日

■募集人数 ①家族(2～4名)1組 ②ペア(2名)4組 ③単身(1名)2組

■参加条件 ①健康な方 ②富良野での生活体験ブログの更新が可能な方
③モニターツアー終了後もアンケート調査など当方のデータ収集に協力して頂ける方

■参加費 1人5,000円(ご自宅から富良野までの交通費および
滞在中にかかる生活諸費は各自負担)



申し込み方法、お問い合わせは

ふらの市移住促進協議会事務局
(富良野市総務部企画振興課内)

TEL:0167-39-2304

<http://www.iju.furano.jp/index.html>



12月9日(金)産経新聞(朝刊)

2012年(平成24年)1月24日(火)
日刊富良野

来月、移住促進フォーラム

講師に北海道大学教授の佐藤誠氏を招く

ふらの市移住促進協議会主催の移住促進フォーラム「富良野らしいライフスタイルと移住・定住」が2月9日、富良野文化会館で開かれる。講師は北海道大学観

光学高等研究センター教授の佐藤誠氏。佐藤氏は、農林水産省農村振興局研究開発課調査員、国土交通省北海道観光研究会座長などを務めている。

主催者側では「富良野市への移住希望者は、主に富良野市、十勝、空知、上川、紋別、網走、室蘭、苫小牧、札幌、旭川、稚内、釧路、帯広、青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、熊本、鹿児島、沖縄」などの地域から移住希望者が集まる。

年々増加傾向にあり、市では様々な相談業務を行っている。また、ふらの市移住促進協議会では、富良野の魅力を紹介する「移住体験」の第一歩をサポートする活動を実施している。講演の中で新たなビジネスとして提唱されている「ライフワーク・ア・ラズ」についても紹介され、今後の移住者受け入れに向けた新たな事業へのアドバイスをいただきます」と市民多数の参加を呼びかけている。

フォーラムは午後3時から5時までの2時間。入場は無料。問い合わせは事務局の市役所企画振興課(0139-2304番)へ。

移住者増加に向けて

ふらの市 移住促進協 9日にフォーラム

【旭川】ふらの市移住促進協議会は9日午後3時から、富良野文化会館で「移住促進フォーラム―富良野らしいライフスタイルと移住・定住―」を開催する。北大観光学高等研究センターの佐藤誠教授が講演し、移住者の受け入れ増加に向けた

ライフウェア産業を紹介する。入場無料。

2009年に発足した同協議会は、市と商工会議所、地元企業で構成し、移住者へのサポート業務やPR活動を展開。短期間に活用されていない市職員住宅や民間住宅を貸し出す「お試し暮らし住宅」を実施している。佐藤教授は、グリーンツーリズムやセカンドホームツーリズムを専門としている。1次、2次、

3次の各産業を統合させ、風習や伝承文化などの地域資源と結び付いた生活スタイルを提供する。ライフウェア産業を解読し、移住者受け入れを目指す新たなビジネスについてアドバイスする。

北海道建設新聞
平成24年2月7日(火)

2012年(平成24年)2月10日(金)
北海道新聞

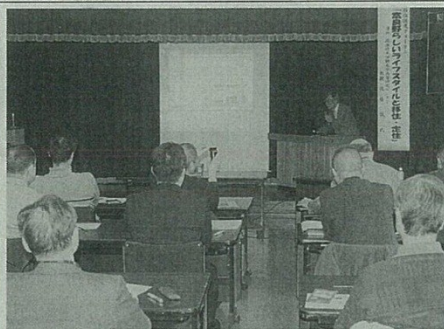
知得北海道
富良野移住体験参加者を募集 【富良野】市
移住促進協議会は3月15
〜19日に行う移住体験モ
ニターツアーの参加者を
募集している。富良野へ
の移住や長期滞在に興味
があり、同協議会のイン
ターネットのブログに体
験を書き込める人が対象
で、募集人数は家族(2
〜4人)1組、ペア4組、
単身2人。
滞在中は病院やスパー
ーなど生活施設の見学も
行う。参加費は1人5千
円だが、富良野までの往
復交通費と滞在中の生活
費は自己負担。申し込み
は15日までに同協議会の
ホームページ(以下)。

<http://www.jifurano.jp/>

○2012年(平成24年)2月21日(火)
日刊富良野

移住・定住をビジネスに

移住促進フォーラム開く



富良野らしいライフスタイルと移住・定住をテーマにフォーラム

ふらの市移住促進協
議主催の「移住促進
フォーラム」が今月9
日、富良野文化会館で
開かれ、同協議会の活
動報告と講師の佐藤
誠・北海道大学観光学
高等研究センター教授
宅」の利用状況や移住

希望者の相談内容、移
住者の状況などの取り
組み状況を報告した。
この中で平成21年度
から行われている、お
試し暮らし住宅の今年
度の利用状況は、弥生
町住宅で7組12人、東
山住宅1号で4組11
人、同2号で6組14人、
山部住宅で1組2人と
なっており、計18組39
人が利用している。
また移住者の状況は
昨年12月31日の時点で
4組5人、平成18年度
からの完全移住者は計
40組80人で、おとし暮
らし住宅利用後に5組
5人が完全移住してい
る。
同協議会では、富良
野市へ移住・定住して
いる多くは「富良野市
で起業したい」との目
的があることから、こ
れらのニーズに対応す
るため、長期滞在宿泊

プランを検討してい
る。そのプランとし
て、スキー、満喫型滞在、
観光拠点型滞在、自然
健康型滞在などを挙げ
ている。このほか、ニ
ーズの多い一戸建て住
宅については、「住ま
いの情報バンク」を設
置しており、現在空き
家となつている住宅を
有効活用するため、市
民からの情報提供を呼
びかけている。
この後、佐藤教授が
「グローバルな田園回
帰トレンド」、「世界
にネオ・ローラリスム
の時代が到来してい
る」、「フランスの美
しい村でも不動産は暴騰
中」、「国民の半数がセ
カンドホーム暮らし」
など実際に訪れた海外
での移住者状況を紹介
しながら講演を1時間
半にわたって行った。
同教授は40年前に下



講師の佐藤誠教授

活躍してい
る。同教授は
講演の中で
「欧米のラ
イフスタイ
ルが、よう
やく地域の
産業になる
時代になつ
た。景観が
いいという
だけで移住
者が増えて
いる。市街
地より農村
など、どろ
ろと広がる
美しい景観
が求められ
ている」と
強調し、「移
住・定住が
大きなジ
ネスチャン
スになつて
いる。富良
野でもその
可能性があ
り、できる
ことがあれ
ば協力した
い」と講演
した。



市内で移住モニターツアー

外寒くても中は温かく快適

【富良野】市内への移住希望者を対象にした体験モニターツアー「寒くはなれよう」が、15日から5日間の日程で始まった。移住希望者、冬の生活体験を通じて富良野をさらに深く知ってもらおうと、市移住促進協議会が主催した。ツアーには東部や中部などから組の男女4人が参加。初日の15日はバスで市街地を移動しながら、農林や市役所、中心街など移住後の生活に必要なマチの様子を見学した。

ワッ工場でオリジナルペ
ルを多く参加者

5組7人 スーパー、住宅見学

「今日は住宅やスーパー、ホームセンターなどの見学を行った。表、フイン工場に移動してオリジナルペルを作製するなどの見学を予定した。昨午5〜6月、富良野で就労し暮らしているという富良野市日市市谷本町(谷本町)の、栗崎子(こ)さん(40)夫妻は、冬の生活を体験してみたいと思い参加した。外は寒く、林間道は凍結の恐れがある。参加者は19日まで市内に滞在する。

(小林健太郎)



モニターツアーの参加者が富良野
演劇工場を見学

モニターツアーの参加者が富良野演劇工場を見学した。15日から始まった。同

富良野への移住を 体験モニターツアーに5組7人

体験モニターツアーに5組7人

ふらの市
移住促進協
議会、能登
芳昭会長
主催のふら
の移住体験
モニターツ
アー「素の
ふらの」が
15日から始
まった。同
観光施設やイベントの

映像を通してモニター
ツアーの概要説明を行
った。この後、参加者
と協議会会員の自己紹
介が行われた。
引き続きバスに乗り、
演劇工場、チース
工場、六花亭の施設を
見学した。16日は移住
相談会が開かれ、終了
後は市内の住宅見学会
やスノーバー、ホームセ
ンター、ワイン工場を
視察した。17、18日の
2日間はフリーで富良
野市内の冬の生活を楽
しみ、19日朝に解散す
る。
広島県廿日市市から
参加した60代の夫婦は
「昨年5月にお試し住
宅で1か月間生活をし
ました。自転車を使っ
て富良野の新緑の春を
楽しみました。とても
素晴らしいことが
思い出されます。それ
では冬の富良野はどん
な景色なのかと思い、
モニターツアーに参加
しました。美しい冬景
色に感動しました。気
温が下がっている割り
には、あまり寒さを感じ
ません。広島ではほ
んど雪が降りませ
ん。夏はともかく寒い
道で生活できれば良い
と思っています。」など
と話した。

日刊富良野 平成 24 年 3 月 17 日 (土)

第20号 平成23(2011)年4月21日(木)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒026-0002
岩手県宮城野町宮野町1番1号 宮内町中央公民館内
TEL:0197-39-0304 FAX:0197-39-0131
E-mail:info@furoms.jp



移住体験モニターツアー終了しました

3月17日から21日までの4泊5日で開催予定のふらの移住体験モニターツアー「素のライフ in ふらの」が終了しました。

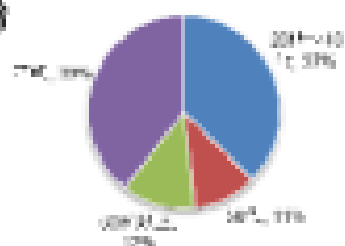
参加者の方にはツアー開始の数週間前よりブログの更新をお願いしており、皆さん自己紹介やツアーに向けての意気込みなどを綴っていただきました。ブログは半年程度、参加者が更新可能にしてありますので、どうぞご覧ください。

ブログ「素のライフ in ふらの」 <http://mobile.jp/furanelife/>

平成22年度移住相談実績

平成22年度における移住相談の実績について、ワンストップ窓口に問い合わせがあった件数は、195件ありました。昨年より45件増えております。

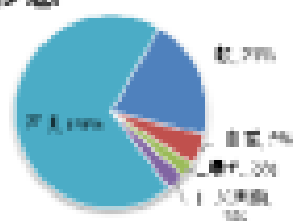
1.年齢



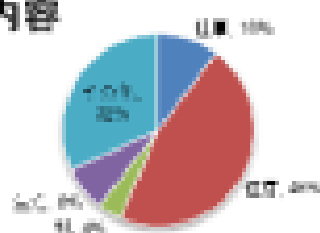
2-2.居住地・地域



5.希望形態



6.相談内容



相談者の年齢構成では、「20代～40代」の比較的若い方が多い傾向となっています。居住地については、全国各地からの問い合わせがある中でも、関東や近畿地方からの問い合わせが多い傾向にあります。

希望形態については、特別なことを求めるのではなく一般的な生活を豊良野でしたいと思われる方が多く、問合せについても住居の相談が最も多くなっています。

第21号 平成23(2011)年6月2日(木)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555

北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL: 0167-39-2304 FAX: 0167-23-2121

E-mail: info@fu.furano.ne.jp



平成23年度 ふらの市移住促進協議会総会開催

ふらの市移住促進協議会平成23年度総会が、平成23年5月27日(木)午後1時30分より、富良野市役所大会議室において開催されました。

当日は、能登会長(富良野市長)より、平成22年度移住相談件数が195件、完全移住者が17



組33名、また、二地域居住が1組2名と、着実に相談件数及び移住者数が増加している。今後もさらなる移住促進につながる事業を行っていく必要があるとの挨拶がありました。

続いて、平成22年度事業・収支決算及び平成23年度事業計画・収支予算(案)について審議し承認をいただきました。また、今年度の総会において、役員改選が行われ、平成23年度及び平成24年度の役員体制が決まりました。

役 職	氏 名	構成団体名・役職
会 長	能 登 芳 昭	富良野市長
副会長	上 田 勉	北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区長
理 事	村 山 友 希	ふらの農業協同組合代表理事組合長
理 事	荒 木 毅	富良野商工会議所会頭
理 事	平 賀 周 一	山部商工会会長
理 事	黒 岩 岳 雄	ふらの観光協会会長
監 事	平 沢 幸 雄	富良野建設業協会会長

平成23年度 負担金

総会の終了に伴いまして、ふらの市移住促進協議会の平成23年度負担金の請求書をご送付させていただきますので、宜しくお願い致します。

作業チームメンバーを募集します

移住促進に向けて機動力・行動力があり、積極的に活動する事が可能な各事業所の中堅若手などで構成された「移住促進作業チーム」のメンバーを募集しております。

富良野市への移住促進に向けて、より実効性の高い事業を行うために作業チームで会合を行い、企画立案～実践するまでの一連の取り組みを行っております。

当作業チームに参加していただける方は事務局までご連絡下さい。

新規加入会員紹介 5月26日より加入されましたので宜しくお願い致します。

事業所名	所属団体	住所
㈱FB ふらのバーガー	富良野商工会議所・ふらの観光協会	富良野市東鳥沼

第22号 平成23(2011)年7月12日(火)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555

北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL: 0167-39-2304 FAX: 0167-23-2121

E-mail: info@fu.furano.ne.jp



山部地区にお試し暮らし住宅完成！

富良野市お試し暮らし住宅に「山部住宅」が新たに仲間入りしました。

山部地区にある旧教員住宅を利用した平屋一戸建ての住宅で、7月より入居が可能な状況になっています。

先日、HPやブログにおいて、利用者の募集を行いました。今後とも順次利用者の募集を行っていきます。

富良野市お試し暮らし住宅 山部住宅	
所在地	富良野市山部南町4番16号
築年月日	昭和49年築 コンクリートブロック造
間取り	3DK 59.62㎡
使用料金	1ヶ月 30,000円
主な装備	テレビ 冷蔵庫 洗濯機 掃除機 ストーブ 炊飯器 電子レンジ イス テーブル



(外観)



(間取り)

●北海道暮らしフェア 開催日程が決定！●

平成23年度の「北海道暮らしフェア」の日程が決定しました。

富良野市では、今年度の総会において承認いただいた、首都圏等プロモーション活動として、東京都及び大阪府の2会場で開催される「北海道暮らしフェア」に、それぞれ職員を1名派遣し、相談ブースを設置、参加していきます。

会員のみなさまにおいても、相談ブースにて「富良野市のPRをしたい」等のご希望がございましたら、事務局までご連絡願います。

※今年度についても、ふらの市移住促進協議会より、旅費の助成制度があります。ご不明な点等については事務局までお問い合わせください。

◎北海道暮らしフェア（東京会場）

日 時：平成23年9月23日（金）10:00 から24日（土）15:00 までの2日間

場 所：恵比寿ガーデンプレイス ガーデンホール

※当日は、サッポロビール㈱が主催する「北海道はうまい！北の大地収穫祭」と連動しての開催になります。※昨年度来場者 1,200人（うち富良野ブース来場者 37組）

第23号 平成23(2011)年9月14日(水)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555

北海道富良野市勢生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL: 0167-39-2304 FAX: 0167-23-2121

E-mail: info@ju.furano.ne.jp



第4回移住促進作業チーム開催

2011 年9月1日(木) 市役所第1会議室にて、第4回移住促進作業チームを開催しました。今回の作業チームでは、移住フォーラムの開催について・移住体験モニターツアーの開催について・ふらの市移住促進協議会パンフレットの作成について議論を行いました。

移住促進フォーラム テーマ募集!

先日の作業チームにおいて、今年度の移住促進フォーラムについて議論を行いました。昨年度については、「移住促進フォーラム～移住者の受け入れと地域活性化について～」と題して、移住を受け入れることにより、メリット・デメリットは何か?地域活性化にどのように結びつくのかなど、移住の現状や地域での先駆的取り組み、民間企業と行政の関わりや住民と協働した取り組みを紹介し、富良野らしい移住者受け入れとは何か、移住者受け入れの意義と課題をテーマに講演会を行いました。

今年度においても、平成24年2月ごろに開催を予定しています。つきましては、会員の皆様から、今年度の講演会におけるテーマ・課題を募集いたします。こんな講演を聞いてみたいなど、何かございましたら事務局までご連絡をお願いいたします。

移住体験モニターツアー オブショナルツアー募集!

平成23年度の事業として「移住体験モニターツアー～素のーライフ in ふらの2011～」を、平成24年2月下旬から3月中旬にかけて、4泊5日の日程での開催に向け準備を行っています。現在、実際に富良野での生活を体験していただき、富良野への移住を促進するために、富良野ならではのイベント・体験メニューなどのプログラムを検討しています。

また、ツアー期間中に行うオブショナルツアーとして、協議会会員によるイベントも募集します。住宅の展示会、投雪・除雪機の運転体験など、富良野の冬の生活に関係するイベント・体験メニューを企画・実施いただける会員は、事務局までご連絡をお願いいたします。

ふらの市移住促進協議会パンフレットを作成します

平成23年度において、ふらの市移住促進協議会のパンフレットを更新いたします。完成後、会員の皆様には改めて連絡のうえ配付いたしますが、枚数等ご希望がある方は、事務局までご連絡下さい。

第24号 平成23(2011)年12月7日(水)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒095-4555

北海道富良野市相生町1番1号 富良野市北部産業団地内

TEL:0167-39-5364 FAX:0167-39-5131

E-mail:info@fu-rano-city.jp



北海道暮らしフェアinJAPAN

北海道への移住や生活体験「ちょっと暮らし」を、海外の方々へ向けてPRするイベント、『北海道暮らし・フェアinJAPAN』が東京・大阪・名古屋にて開催されました。

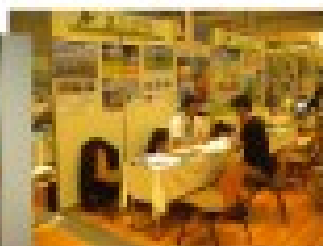
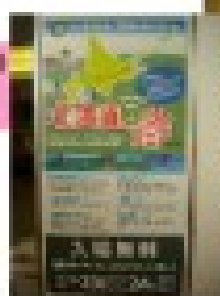
今年度富良野市としては、9月23日・24日で開催された東京会場、10月22日に開催された大阪会場の2会場に出展しました。

富良野ブースには、幅広い年齢層のお客様がお越しになりましたが、相談内容としては、若年層の方からは仕事に関する相談、また住居に関する相談が多い傾向にあります。一方、高齢者（退職前後）の方からは、住居に関する相談が中心で、特徴的な点としては、完全移住ではなく二地域居住・シーズンステイに対応した住居に関する相談が多くありました。また、共通した相談としては、医療・冬の生活実態に関する相談が多く寄せられました。

東京会場

来場者数1,900名(主催者発表)

富良野市のブース：53組



大阪会場

来場者数1,200名(主催者発表)

富良野市のブース：33組

※大阪会場には、移住促進協議会会員である「株式会社 コダマ」の瀬川氏、「賃貸アパートメント」の永田氏が同行し、移住相談の対応をしています。



移住体験モニターツアー開催決定！

現在、平成24年3月15日(木)～19日(月)の期間に、富良野での冬の生活を体験していただく移住体験モニターツアー「冬のーライフ in ふらの2012」に参加される方を募集しています。募集要項などの詳細は、ふらの市移住促進協議会のホームページ(<http://www.jfu.furano.jp/f-tour.html>)をご覧ください。

また、ツアー期間中に協議会会員によるイベントも開催しています。例えば、住宅の展示会や投票機の試運転会など、富良野での冬の暮らしに関係するイベントを行っていただける会員の企業は事務局までご連絡ください。

第25号 平成24(2012)年1月20日(金)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555

北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121

E-mail:info@ju.furano.ne.jp



書籍「素のライフ in ふらの 2012」

平成24年3月15日(木)～19日(月)の期間に、富良野での生活を体験していただく移住体験モニターツアー「素のライフ in ふらの2012」を開催します。

ツアー期間中に協議会会員によるイベントも募集しています。住宅の展示会や投雪機の試運転会など、富良野での冬の暮らしに関係するイベントを行っていただける会員の企業は事務局までご連絡ください。

移住促進フォーラム ～富良野らしいライフスタイルと移住・定住～

平成24年2月9日(木)

午後3時～5時 午後2時30分開場
富良野文化会館2階 中会議室

富良野市の人口は、昭和40年をピークに減少傾向にあります。その要因は、高度経済成長による都市への集中から、近年では少子高齢化と地域産業の低迷による雇用場所の減少が考えられます。

富良野市への移住希望者は年々増加傾向にあり、市では様々な相談業務を行っています。また、ふらの市移住促進協議会では、富良野の魅力をPRしたり、実際の生活体験を通じて移住の第一歩をサポートする活動を実施しています。

移住を受け入れるために、移住者が求める情報提供や環境づくりは必要不可欠なものです。富良野市の魅力を最大限に活かし、空き家や賃貸住宅等を利用した「二地域居住」の推進が可能なか？移住者が求める生活環境を把握し、ニーズに合った状況づくりが可能なか？など、移住者の住宅ニーズや生活ニーズを知り、移住・定住そして地域活性化につなげる取り組みを展開するため「富良野らしいライフスタイルと移住・定住」をテーマに講演会を開催します。

また、講演会のなかで、新たなビジネスとして提唱されている「ライフウエア産業※1」についても紹介をいただき、今後の移住者受け入れに向けた新たな事業へのアドバイスをいただきます。

※1「ライフウエア産業」

「都市の力」である2次・3次産業と「村のいのち」である1次産業を統合させ、風景や伝承文化などの地域資源と結びつけること

第26号 平成24(2012)年3月29日(木)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒006-0005

北海道富良野市中央1番1号 富良野市北部観光案内

TEL:0167-09-0804 FAX:0167-09-0101

E-mail:info@fu-keno.org



移住促進フォーラム ～富良野らしいライフスタイルと移住・定住～

平成24年2月9日(木)、「移住促進フォーラム～富良野らしいライフスタイルと移住・定住～」と題しまして、富良野文化会館において講演会を開催しました。

当日は、協議会会員や企業の方、市民など40名の方にご参加いただき、アンケートの結果から、移住促進事業に力を入れるべきとの意見が多く、移住促進による地域活性化に関心が高いことがわかりました。また、実際移住されてきた方からは、移住者の組織づくりや、交流のきっかけなど、移住者間の情報交換の場を求める傾向が強いことがわかりました。



移住体験モニターツアー 「素の～ライフinふらの2012」 終了しました。

3月15日から19日までの4泊5日で予定してました、ふらの移住体験モニターツアー「素の～ライフinふらの2012」が終了しました。

今回のツアーには5組7名の方に参加いただき、富良野の生活を体験していただきました。参加者の方にはツアー開始の数週間前よりブログの更新をお願いしており、自己紹介やツアー参加に向けての思い・期待、また、ツアー中の体験談などを綴っていただいています。ブログについては、参加者の更新を約半年間可能にしてありますので、ご覧いただければと思います。

ブログ「素の～ライフinふらの2012」 <http://ameblo.jp/furanolife/>

平成24年度 移住促進事業(案)を募集します。

3月も残すところ僅かとなり、作業チーム・事務局では平成23年度総括と平成24年度の事業計画(案)の作成を行っているところです。

そこで、協議会会員の皆様から、平成24年度に行う事業においてご提案・ご意見を募集させていただきたいと思いますので、ご提案・ご意見等ありましたら事務局までご連絡をお願いいたします。

ふらの市移住促進協議会 事務局

〒076-8555 富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内
TEL 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121